

駐日イスラエル大使館
大使 ギラッド・コーヘン様

イスラエルによるガザ攻撃の即時停止を求める声明

わたしたちは、すべての命は神によって創造された尊いものであることを信じ、そのことを示されたイエス・キリストの平和がこの地上にあまねく広がり、すべての人が生きるべき命を幸せに生きられるようにと祈る信仰者の集まりです。

10月7日、ハマスがイスラエルを攻撃して多くの人びとが人質に取られたことに対し、イスラエル政府は反撃を開始しました。そして、イスラエル軍は一ヶ月以上も攻撃を続け、その結果、一万人以上を超える非戦闘員のガザ市民が命を失いました。また、生命を維持し、負傷した人びとの治療にあたる病院が破壊されています。そして、破壊された医療施設の数も100を超えています。

ハマスの行為も容認できませんがガザの人びとに甚大な被害をもたらすイスラエルの軍事行為は、ジュネーブ条約などに記される「集団的懲罰」にあたり、国際人道法に違反するものです。いまイスラエルは「テロリスト排除」を理由に、200万人以上のガザ住民の生活を破壊し、命を人道的危機にさらしています。そのように、人びとの命を脅かすイスラエルの攻撃こそがテロ行為ではないでしょうか。

イスラエル軍による攻撃は国際社会の平和と安全を脅かし、国連憲章に明らかに違反する行為であり、平和を希求する世界中の人々の切なる思いを踏みにじる行為で、到底容認できるものではありません。

わたしたちは、神によって創造された命がこれ以上失われないように、ガザ地区に住むすべての人々の生命と人権を守るために、イスラエル政府によるガザ地区への攻撃と大量殺戮の即時停止、そして、外交による平和的手段での解決を強く求めます。

2023年11月20日

日本基督教団大阪教区

総会議長 尾島信之
常置委員会